

にっしんESD講座通信

2021年3月17日
ホタルの里 幼虫放流会

4 質の高い教育を
みんなに



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



ゲンジボタルの幼虫の放流会が折戸川ホタルの里で開かれました。

この講座は、自然の楽しさや大切さを伝え、持続可能な社会の担い手を育む「人づくり」を目指すESD(持続可能な開発のための教育)活動の一環として行われています。講師は、折戸川にホタルを飛ばそう会のみなさんです。

最初に、会員の方からゲンジボタルの生態の説明がありました。ゲンジボタルの幼虫はカワニナを食べることや放流から約2か月後に成虫になり、きれいに輝きながら飛ぶことなどを学びました。

次に、放流に移りました。みんな大好きホターマン・ピカチャンと一緒に、樋の滑り台を使ってホタルの里の小川に幼虫をダイブさせました。幼虫を初めて目にした子どもたちの中には、「これが光るようになるの!？」と成虫との見た目の違いに驚いていた子もいました。

5月中旬にはホタルが成虫になります。参加者は、自分たちの放流したホタルが美しく輝く姿を見ることを楽しみにしていました。去年はたくさんのホタルが飛び交いました。今年も昨年以上の輝きを期待したいです。

